

陸生ホタル研

No.156

2026 年 9 月 2 日

陸生ホタル生態研究会事務局

電話：FAX042-663-5130

Em:rikuseihotaru.07@jasmine.ocn.ne.jp

台風災害と異常気象のダブル災害にさらされた

高尾山の日影沢林道その後の現状

1 はじめに

調査月報143号で、19号台風に見舞われた高尾山の日影沢林道の惨状を報告しましたが、あれから4年の歳月がながれました。そこで、その後の復旧対策の進捗状況を知りたいと思い、8月30日に現場をたずねてみました。以下その報告です。

1；図 とりつきの状況、風倒木が5本放置されたままで奥の建物が当時の林野庁の作業小屋、現在は閉鎖されています。



2：図 最初の湧き水のある沢の状況、○印が当時、台風の湧水が押し出した土砂の山が残っていました。赤矢印のところに湧水があります。左下の矢印、水の出口です。この形が林道の湧水の水路の一般的な形式です。日影沢林道にはたくさん見られます。災害前は赤矢印の湧水たまりにはヘイケボタルが生息していました。しかし、19号台風で消滅しました。



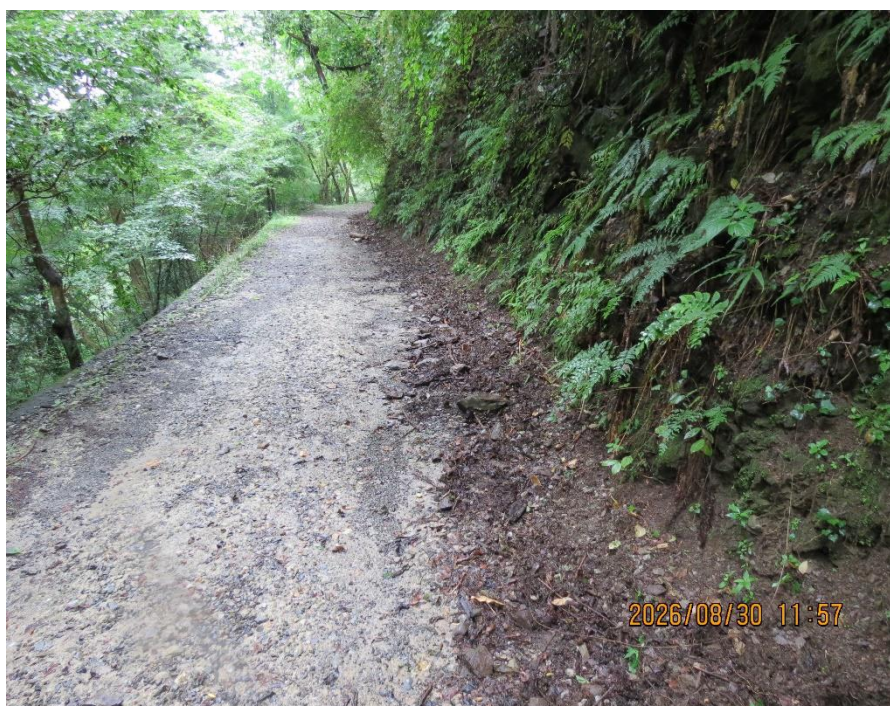
3：図 2：図の黄色円の右側の状況。ここの湧水が台風で運び出した土砂です。ダンプに3台分ほど大量です。洪水防止装置ですね。土砂がここでせき止められていますので、この谷の下の小仏川まで流れ出さなくてよかったです。



4：図 ごらんのように倒木や落枝は整理されてきれいになりました。



5：図 山側のサイドは陸生ホタルの住処ですが、今回の調査でも全くみつかりませんでした。



6：図 倒木がありました。斜面から最近になり落下してきたようです。



7：図 良好な環境です。ところが、ホタルどころか土壌生物の姿がみつかりません
陸生貝類の大型の種の貝殻も一つもみつかりません。溶けるはずはないのですが・・・。



8：図 通行禁止車止めです。この林道は全長6 km ほどですが、行き止まりの林道で歩いて小仏川の集落に下る赤道も酷暑で草木に閉ざされています。



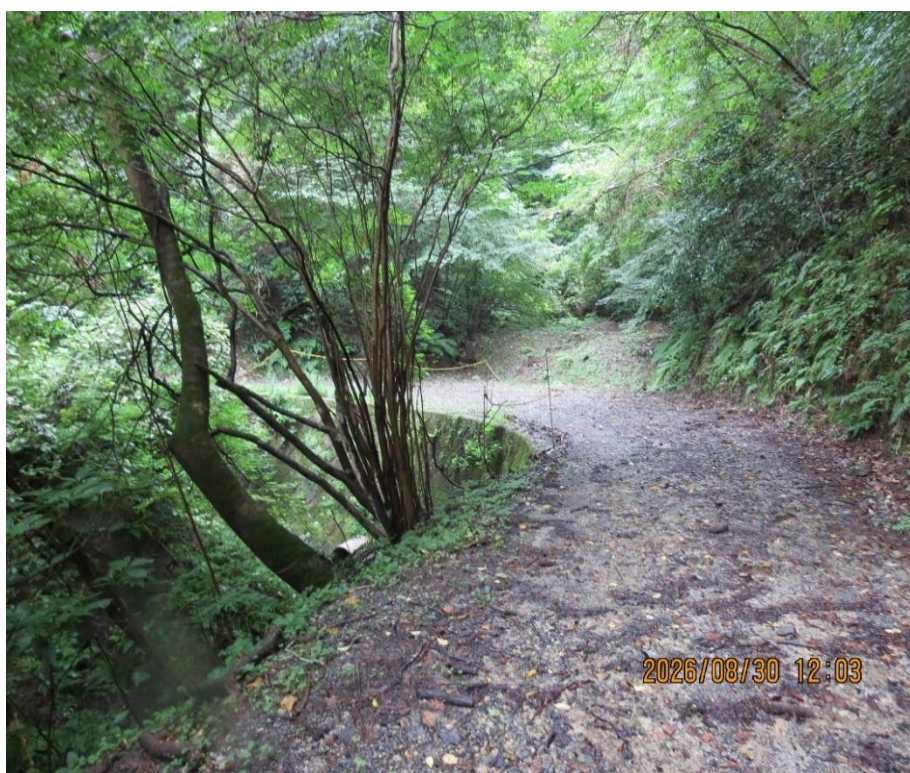
9：図二つ目の車止めです。



10：図 落枝が1本ありました。山側の斜面の土壌生物の姿はありません。



11：図 ここまで土壌生物の姿はありませんでしたがカラスやキジバトは時々飛んでいました。



12：図始めにご紹介しましたように林道には何か所も湧水があり沢を下って小仏川に注ぎます。



13：図 ここにはかつて湧水があり、スジグロボタルやモリアオガエルが生息していました。
現在は水がかれています。



- 14：図 以前には黄色線のところに湧水がありその先の右側山から湧水が落ちていました。
しかし、今回はすっかり涸れていました。



- 15：図 ここには倒木が転がり落ちていました。



16：図 良好な環境です。しかし陸生ホタルの幼虫も土壌昆虫の姿も全く見られません。



17：図 ここの16：図と同じです



18：図 ここには倒木が4本ありました。右側の斜面から落ちてきたものと想います



19：図 ここには落枝が散らかっていました。



20：図 上部の水成岩が風化し、林道端に崩落しています。ただ、これが今後大規模な地滑りに発展する危険はありません。



21：図 16：図・17：図と同様に良好な自然環境です。しかし土壌生物の姿はここにもみられません。



22：図 落枝が1本ありました。この付近は、風のある日は危険ですね。



23：図 ここも自然環境は抜群です。しかし陸生ホタルの幼虫の姿はみあたりません。



24：図 林道の終点です。右側の斜面の所に小規模の崩落が起きて枯れ木の丸太が転がり落ちてきたようです。



以上がこの日の日影沢林道6km程の現状です。自然環境は激変したとは思えないのですが、林道上に陸生ホタルの幼虫の姿はありませんでした。まるで「沈黙の春」です。ところがこの日この林道では、これまで見たことも聞いたこともない大事件が起きていました。次の25：図、これがその事件の昆虫です

25：図 ミンミンゼミ 林道に死んで落ちていたものです



このセミ、アブラゼミやクマゼミと同じく、夏になると陣場や高尾の山地ばかりでなく市内の公園や我が家の庭の植木の上でもジンジンと鳴いていました。しかし、最近の異常気象になり、すっかり影を潜めて、見かけなくなっていました。ところが、上記の日、日影沢林道沿いの森林では、おびたしい数のミンミンゼミがジンジンと大合唱をしていました。全長6 kmほどの林道沿い全体の樹木の上ですから何千、何万という数ですが、これまで聞いたことのないすさまじい音でした。

あとがき

今年の8月は、酷暑に大雨の災害で陸生ホタルの生態研究ができませんでした。特に九州や東北地方・中部地方の会員の皆さん方は、災害が何度も発生しましたので、大変だったと思います。近くでしたら老骨に鞭打って、復旧作業のお手伝いにいきたいところですが、それもかなわず、申し訳ございません。

今年の夏は、例の小型ゲンジボタルの分布調査を進めたかったのですが、異常気象で羽化の時期が早まり、その上に期間が短くなりましたので、想うような調査ができず、来年以降に持ち越しとなりました。

ホタルではありませんが、先日我が家の庭先で掃除をしていましたら、ニホントカゲが1匹でできました。めじろ台の団地には、3年前までは、多くの家の庭先にヒキガエルが生息していました、池はないのに、我が家の玄関の階段にヒキガエルが1匹、ちょこんと座っていたことがありました。驚いて近所の皆さんにおききしてみたら、「うちの庭にもいますよ・・・」という方がなんげんもありました。しかし、これも今年の6月は見られませんでした。残念です。